

市民のみなさんの 声を市政に



6月30日～7月20日まで、市内8地区で「地区別ミーティング」を開催しました。市から今年度の主要な事業などを説明し、その後、会場の皆さんから市の施策や地域の課題などについて、多くの「意見・ご提言をいただきました。

その主な内容をご紹介します。

【市の主な事業説明】

○第5回総合防災訓練の実施について

第5回大村市総合防災訓練が、9月11日(日)に森園運動広場 消防学校で開催されます。会場では、訓練だけでなく、地震体験や火災時の煙体験、災害現場写真や災害時の携行品の展示コーナーなど、防災コーナーを設けます。お誘いあわせのうえ、ぜひ訓練をご覧になり、体験して、災害に備えてください。(12ページ参照)

○定期的な健康診査の受診について

健康をおびやかす生活習慣病は、自覚症状がなくなるので、異常を確認するには毎年の健診が欠かせません。生活習慣病の予防と健康づくりのために、年に二度は「特定健診」を受けましょう。

また、今年から大腸がん検診と肝炎ウイルス検診に対する支援を始め、該当する年齢の人には無料クーポン券をお送りします。積極的に受診してください。

○イノシシ対策について

近年、イノシシによる農作物被害、生活環境被害が問題になっています。イノシシの習性を理解するとともに、防護柵の設置や環境の整備、捕獲対策などに補助制度がありますので、これらをバランスよく同時に実施し、被害を減らしていくことができるよう、ご協力を願います。

【各地区からの「ご意見」】

○子どもたちの教育について

市では、全国学力学習状況調査の内容について公表しているが、「任んでいる地区の行事への参加率」が全国平均より低い。ふるさとを愛する心、地域での交わりを育むことは大切である。子どもたちの生活環境を整え、心の教育、ふるさとを愛する教育を進めて欲しい。

また、子どもたちは親の姿を見て育つが、現代社会は日本の精神文化が薄れ、大人も自己中心的になってきている。地域の中で子どもを育てていくという姿勢や環境づくりが重要である。

○三浦地区の交通安全対策について

三浦地区で交通事故が起きたが、国道34号の迂回路として交通量が増加し、以前から対策をお願いしている。他の道路も含めた交通量のデータ分析や、交通量が多い時間帯の実態調査などを踏まえて、抜本的な対策をお願いする。地域ぐるみの活性化は、まず安心のまちづくりからだと思う。

また、事故に遭遇した子どもたちの心のケアについても、引き続きよろしく願いたい。

○国道34号の整備について

与崎から先の諫早側の国道34号について、早期に拡幅整備ができるよう、期成会を中心に、県と一体となって努力をして欲しい。これは、諫早市との交流や連携

も関係しており、地域発展のためには、行政はその点を避けて通れない。
また、これと関連して、道の駅の整備に向けた支援についてもお願いする。

○松原地区の地域振興について

松原地区の最大の課題は、人口の減少であり、新幹線開通に伴う効果は、松原地区では特に期待するものがない。発電所跡地への企業誘致が考えられるが、将来、子どもが聞こえなくなり、松原小学校の廃止、あるいは統廃合があるのではと心配する。市として何らかの対応策はないものか。
また、野岳ため池改修工事のあと、土取場の跡地を有効活用できないものか。

○市内のバス路線について

来年の春に向けて、バス路線の見直しがなされるとのことだが、これまでも赤字路線には補助金が支出され、利用者の実態と見込みを基に減便や廃止がなされてきた経緯は理解できる。しかし、もつと市民の利便性や福利厚生観点を重視して欲しい。高齢者にタクシーの割引券を配布するなどというアイデアはいかがか。

○歴史観光都市としての整備について

大村市はキリシタン大名大村純忠や天正遣欧少年使節など立派な歴史がありながら、総合的な史料館がないので建設して欲しい。

また大村公園には大型バスの駐車場がない。その整

備が必要だと思うほか、案内板の整備や、旅行会社へのPR活動にも力を入れてもらいたい。

○重井田、松原の道路拡幅について

昨年のミーティングで要望した重井田の道路拡幅、松原のゴルフ場へ続く道路拡幅については、それぞれ離合場所を作ってもらった。今後も残りの区間について、年次計画によって整備を進めて欲しい。

○災害時の緊急避難場所について

市が作成したハザードマップによると、避難場所として市民会館が指定されているが、自宅から距離的に遠い。周囲には民間の大きな建築物も多く、そういった場所を緊急的に利用できないか。

○国道444号の安全対策などについて

荒瀬の産直前の交通渋滞対策をはじめ、萱瀬小学校前の山からの流水対策、久良原地区の歩道設置などの要望を引き続きお願いする。住民の安全確保のために、今後も県とよく連携をとり対応して欲しい。

.....

この他にも、道路・河川・公園の整備に関する要望をはじめ、教育問題、環境問題などについても、さまざまなお意見をいただきました。

これらのご質問やご要望などについての具体的な対応策などは、後日、各住民センターなどを通してお知らせします。



■地域げんき課(内線185)

皆さんからの貴重なご意見は、できるものから実行・対応していきます。参加していただいた皆さん、日中のお忙しい時間、また夜遅くまでありがとうございました。

※()内は前年参加人数
昼間：午後1時30分～3時30分 夜間：午後7時～9時

参加者数		(単位:人)
6月30日(木)	西大村(昼) 中地区公民館	100 (95)
	竹松(夜) 郡コミセン	55 (58)
7月1日(金)	鈴田(昼) 古松公民館	68 (45)
	三浦(夜) 溝陸公民館	74 (63)
4日(月)	福重(夜) 今富公民館	51 (52)
5日(火)	大村(夜) 市コミセン	47 (40)
6日(水)	萱瀬(夜) 萱瀬住民センター	42 (47)
	20日(水)	松原(夜) 八幡神社社務所
合計		483 (425)